

池田醇一 いけだ じゅんいち 支那研究家。明治二十六年十一月六日東京小石川柳町生れ、昭和四十九年六月十六日歿（八九三―七五）。號古白。化學者池田壽苗の長男。彰文館中華學校等の學ぶ。大正初年畫家と志し、野田清輝、岡田二郎助の師事、次いに日本畫を獨習。高木長華、山内神芥等と共に『日本美術會』を組織して機關誌『美術』を創刊。また柳田泰蔵の書と『美術』の執筆。昭和十五年支那旅行、十九年歸國。二十七年味の素株式會社顧問、その後引中支那協會會員となり文化交流の努めを。

『美術』の執筆。昭和十五年支那旅行、十九年歸國。二十七年味の素株式會社顧問、その後引中支那協會會員となり文化交流の努めを。

『美術』の執筆。昭和十五年支那旅行、十九年歸國。二十七年味の素株式會社顧問、その後引中支那協會會員となり文化交流の努めを。

池田醇一追悼文集

